

市職員や教職員が勤務中に乗る公用自転車前かごへの 《自転車は左側通行》 掲示

真木大輔（戸田市議会議員）



■取り組み概要とポイント

「市職員や教職員が勤務中に乗る公用自転車前かごへの《自転車は左側通行》の掲示」を提言。

公的機関による交通事故の分析データを見ると、自転車の関与する事故の約7割は交差点で発生しており、その多くが自転車の右側通行に因るものである。なぜならば、交差点に出入りするクルマから見て、クルマやバイクの流れと逆行する右側通行の自転車は認識しづらいからである。

自転車の左側通行が徹底できれば自転車事故は大きく減少するわけであるが、その啓発には多くの自治体が苦慮している。自転車事故率の高さが問題となっている戸田市も例外ではない。

会員数1,478人（平成26年10月21日現在）のfacebook「自転車は左」グループでは、全国の自転車利用者に左側通行を遵守してもらうための活発な議論が日々交わされている。私もメンバーとして参加し、平成26年7月には初めての総会を戸田市で開催した。

「自転車の前かごへの《自転車は左側通行》の掲示」は、このグループから生まれたアイデアであり、掲示物に《自転車は左側通行》という文言と共に大きな矢印が記載されているのが特徴である。

自転車の前かごに《自転車は左側通行》が掲示されることで、自転車に乗る人が左側通行を遵守するようになるだけでなく、この自転車と向かい合ってすれ違う逆走自転車に対して「本来通行すべき場所は逆側（左側）である」というメッセージを伝える、いわば「動く啓発物」としての効果も期待できる。

いずれは、PTAや地域住民、自転車通学・通勤者などの自転車の前かごに掲示していただきたいという思いを持っているが、まずは、市民や子供たちの模範となるべき市職員・教職員が勤務中に乗る公用自転車前かごへの掲示にターゲットを絞り、議会で提言した。

提言の後、戸田市の担当課がサンプルを作成し、担当課や埼玉県警、保護者が実施する街頭での自転車安全利用啓発キャンペーンにおける試験運用が開始された。これは全国で初めての取り組みであり、その様子は、ケーブルテレビ局の地域ニュースで取り上げられた。私のもとには、他自治体の住民の方々からサンプル提供依頼や導入希望の声が届いている。

現在は、正式運用に向けた掲示物のデザイン改良と運用体制の構築が担当課によって進められている。

■受賞メッセージ

全国的に自転車利用者が増加しているいま、自転車レーンなどの自転車走行空間の整備とともに、自転車ルールの周知徹底は、どの自治体にとっても重要な課題になっているのではないかと思います。



多くの方々の協力を得て実現に至った「自転車前かごへの《自転車は左側通行》の掲示」ですが、これは、お金の掛からない、しかし啓発効果の高い施策です。

今後、この取り組みが普及されることで、国内の自転車事故が減少し、ひいては「人と自転車とクルマが安全に共存できる社会づくり」に繋がっていくことを望んでいます。

最後に、政策のメインテーマとなることが少ない「自転車」に係る本提言に対し、名誉ある賞を下された審査委員の皆様へ、深く敬意を表します。ここで得た力を、今後の普及活動に活かしていきたいと思えます。

第9回マニフェスト大賞 参考資料

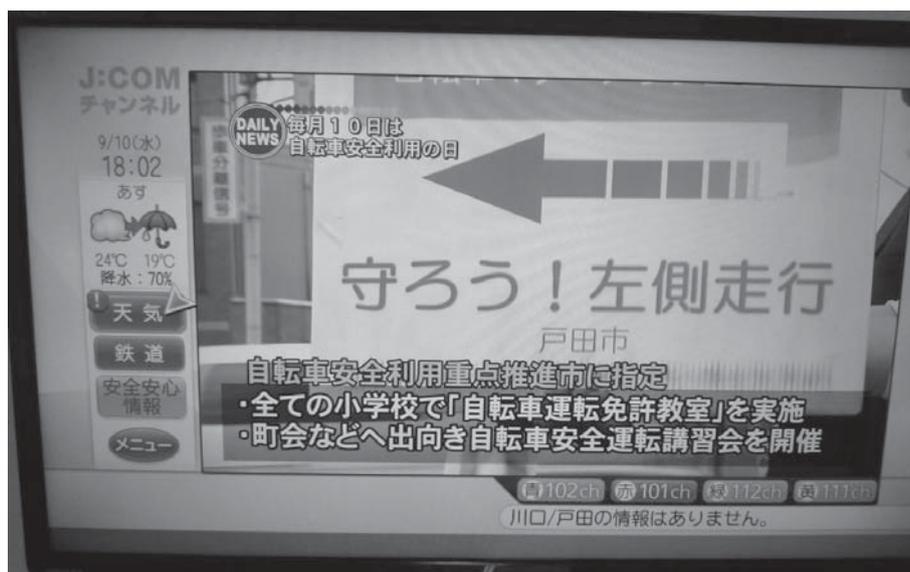
公用自転車の前かごへの《自転車は左側通行》の掲示（2014年7月10日）



戸田市の防犯くらし交通課による試験運用（2014年7月10日）



J:COM 川口・戸田のデイリーニュース (2014年9月10日放送)



facebook「自転車は左」グループの第1回総会 (2014年7月20日 戸田市文化会館にて)

